

目次

01	本報告書について
02	ご挨拶
03	会社概要／事業内容
04	環境マネジメントシステム
05	環境行動計画／実績
06	TCFDへの対応
07	気候変動対策
08	資源循環の促進
09	生物多様性保全／化学物質管理および汚染予防
10	SDGs達成への貢献
11	ソリューション・サービスへの取り組み
12	製品への取り組み
13	ステークホルダー・エンゲージメント
14	環境ガバナンス
15	環境コンプライアンス／事業活動および環境負荷
16	環境データ（気候変動、水資源）
17	環境データ（資源循環、化学物質）
18	環境データ（サプライチェーン排出量）
19	環境データ（補足 - 気候変動、水資源、資源循環、化学物質）
20	環境データ（補足 - サプライチェーン排出量）
21	「2018年版環境報告ガイドライン」対応表
22	事業所・営業拠点・グループ会社

本報告書について

編集方針

富士通フロンテックグループは、気候変動や資源循環、生物多様性など企業をとりまくグローバルな環境課題や、富士通グループ環境方針および環境ビジョンに基づき『環境にやさしい企業活動』を基本理念とした「富士通フロンテックグループ環境方針（[リンク](#)）」を定めています。そして、本方針に基づき「富士通フロンテックグループ環境行動計画」を策定し、環境課題の解決に貢献すべくグローバルで活動を展開しています。

本報告書は「富士通フロンテックグループ第11期環境行動計画」（2023～2025年度）における取り組みをはじめとする環境活動や環境データなどを幅広く網羅し、ステークホルダーの皆様へ当社グループの活動をわかりやすくご報告することを心がけています。

報告対象期間

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）
その他、過去4～6年の推移データおよび2024年度の一部活動実績を含みます。

報告対象組織

国内	富士通フロンテック株式会社
	株式会社富士通フロンテックシステムズ（FJFS）
	トータリゼータエンジニアリング株式会社（TEL）
	株式会社ライフクリエイト（LC）
海外	FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES（FDTP：フィリピン）
	Fujitsu Frontech North America Inc.（FFNA：米国）

参考ガイドライン

環境省発行「環境報告ガイドライン2018年版」
※同ガイドラインへの対応表は、P21に掲載。

発行：2024年9月

発行責任者：代表取締役社長 渡部 広史

企画・編集責任者：環境管理センター長 福井 孝